

平成28年度行政事業レビューシート ( 総務省 )									
事業名	G7情報通信大臣会合開催経費			担当部局	情報通信国際戦略局			作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	国際政策課			課長 山崎 良志	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第78号及び95号			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成28年5月26日・27日に我が国で開催する伊勢志摩サミットに先立ち、平成28年4月29日・30日に香川県高松市において、G7情報通信大臣会合を議長国として開催し、我が国の優れたICT技術を世界に強力に発信し、ひいては地方創生にも貢献する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記目的の実現のため、G7情報通信大臣会合を効率的・効果的に運営し、必要事務を外部委託する。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	137	-		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	137	0		
	執行額		-	-	-	-	-		
執行率 (%)		-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	G7情報通信大臣会合の開催を通じ、ICTIに関する各国の合意文書を策定する。	各国合意文書の数	成果実績	件	-	-	-	-	1
			目標値	件	-	-	-	-	1
			達成度	%	-	-	-	-	100
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	議論の成果を反映させたICTIに関する新たな取組を実施する。	ICTIに関する新たな取組の件数	成果実績	件	-	-	-	-	1
			目標値	件	-	-	-	-	1
			達成度	%	-	-	-	-	100
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	関連イベント及び関連会議が5件開催されることを目指す。	地方自治体等が主催する関連イベント及び関連会議の件数	成果実績	件	-	-	-	-	5
			目標値	件	-	-	-	-	5
			達成度	%	-	-	-	-	100
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	G7情報通信大臣会合の開催	活動実績	回	-	-	-	1		
		当初見込み	回	-	-	-	1		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	執行額/G7情報通信大臣会合開催回数	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	137		
		計算式	百万円/回	-	-	-	137/1		

平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	主要国首脳会議開催職員旅費	5.3	-						
	主要国首脳会議開催庁費	131.7	-						
	計	137	0						
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	V. 情報通信(ICT政策)							
	施策	6. ICT分野における国際戦略の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		二国間での定期協議、政策協議、国際機関等における会議への参画及び意見交換の実施回数	実績値	回	42	45	47	-	-
			目標値	回	38	38	38	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	G7香川・高松情報通信大臣会合における成果文書の取りまとめやG7及びEUとのパイ会談での協議を行うことにより、情報通信分野における国際的な課題解決、連携強化を図ることにより、我が国の方針に沿った国際的なルール作りが実現されることとなるため、円滑な情報流通等、国際的な政策協調に貢献し、我が国ICT企業の海外展開に寄与する。								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
		成果実績			-	-	-	-	-
目標値				-	-	-	-	-	
達成度	%			-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	成果実績			-	-	-	-	-	
	目標値			-	-	-	-	-	
達成度	%			-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	G7の情報通信大臣がICTについて議論し、国際社会が直面する様々な課題について、率直な意見交換を行い、G7各国が協調して対応することは、高齢化等地球規模の課題の解決に資することから、国民や社会のニーズに合致している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	今回のG7情報通信大臣会合は、我が国が主催する会合であり、国が積極的に実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	国際会議の場で、我が国の政策や現状を広く主張し、諸外国の理解を図ることは、国益の確保に必要不可欠であることから、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	実施・請負先の選定にあたっては、企画競争入札方式により透明性・競争性を確保している。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	企画競争入札により最も優れた提案者を選定していることから、単位当たりコストの水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	項目毎の単価や必要性について精査を行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	情報通信大臣会合を当初見込み通り円滑に開催した。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	情報通信大臣会合の合意文書及びその文言は、情報通信大臣会合後の国際交渉の場において、引用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名		事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-0016

